

第 2 次 宇 都 宮 都 市 交 通 戦 略

具 体 的 な 施 策 事 業 個 票

令 和 4 年 3 月

目 次

方針	整理番号	施策・事業名	ページ
基本方針1	1-(1)-①	LRTの導入	1
	1-(1)-②	バス路線の充実	2
	1-(1)-③	地域内交通の充実	3
	1-(1)-④	市街地部における生活交通の確保	4
	1-(2)-①	都市計画道路の整備	5
	1-(2)-②	スマートインターチェンジの整備	6
	1-(3)-①	自転車走行空間や歩行空間の整備	7
	1-(3)-②	シェアサイクルの充実	8
基本方針2	2-(1)-①	トランジットセンターの整備	9
	2-(1)-②	鉄道駅周辺の交通環境の整備	10
	2-(1)-③	バスと地域内交通の乗り継ぎポイントの整備	11
	2-(1)-④	パークアンドライド用駐車場の整備	12
	2-(1)-⑤	サイクルアンドライド用駐輪場の整備	13
	2-(2)-①	公共交通の運賃負担の軽減	14
	2-(2)-②	乗り継ぎに配慮した運行ダイヤの編成	15
	2-(2)-③	交通ICカードの導入	16
基本方針3	3-(1)-①	バスの定時性・速達性の向上	17
	3-(1)-②	バスの運行時間帯の拡大	18
	3-(1)-④	企画乗車券の充実	19
	3-(1)-⑤	バスの待合環境の整備	20
	3-(2)-①	公共交通の案内情報の提供	21
	3-(2)-②	バスの運行情報の提供	22
	3-(2)-③	公共交通の案内サインの充実	23
	3-(2)-④	バスの方面別系統番号の導入	24
	3-(3)-①	ノンステップバスやUDタクシーの導入推進	25
	3-(3)-②	交通施設のバリアフリー化の推進	26
	3-(3)-③	交通安全に関する市民意識啓発の推進	27
	3-(4)-①	モビリティ・マネジメント施策の推進	28
	3-(4)-②	公共交通の「おもてなし」の向上	29

方針	整理番号	施策・事業名	ページ
基本方針 4	4-(1)-①	自動運転や安全運転支援装置の公共交通への活用	30
	4-(1)-②	バス・タクシーへのゼロエミッション車の導入推進	31
	4-(1)-③	トランジットセンター周辺の低炭素化の推進	32
	4-(2)-①	公共交通と連携したカーシェアリングの導入	33
	4-(3)-②	広域バス路線の充実	34
	4-(3)-⑤	周辺市町と連携した交通施策の推進	35

1. 多様な交通手段を「つくる」

1-(1)-①		LRTの導入
施策事業の概要		高い輸送力や定時性を備え、人や環境にやさしく、産業の振興や沿線地域の活性化など、将来のまちづくりに多くの効果が期待できるLRTを、東西基幹公共交通として導入する。
事業主体 (関係機関等)		交通事業者, 宇都宮市
施策事業の進捗状況	R 3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅東側 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ LRTの整備工事（鬼怒川橋りょう工事，軌道工事等） ⇒ 車両の製造 ⇒ 停留場の名称等の決定 ⇒ 車両愛称「ライトライン」の決定 ⇒ 用地の取得 ⇒ 運営体制の構築 ⇒ 各種割引施策等の検討 ○ 駅西側 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ LRTの事業化に向けた検討 ○ 市民理解促進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 「交通未来都市うつのみやオープンスクエア」の運営 ⇒ 車両お披露目式，車両見学会の実施

ライトラインお披露目式



1-(1)-② バス路線の充実

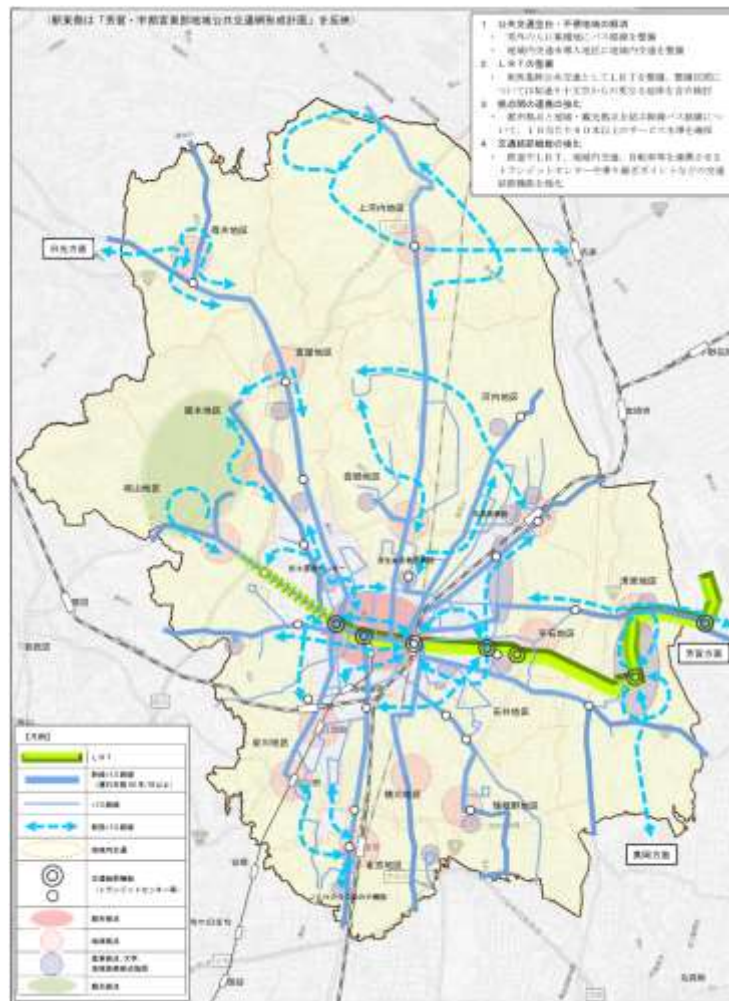
公共交通空白地域を解消するとともに、都心部と各地域の拠点などの拠点間の移動の利便性を高めるため、LRTや地域内交通と連携し、役割分担しながら、バス路線の新設や既存バス路線の運行サービスの向上を図り、LRTや地域内交通と連携した効率的なバスネットワークを構築する。

事業主体
(関係機関等) 交通事業者, 宇都宮市

施策事業の進捗状況 R3

- 駅東側バス再編
 - ⇒ バス事業者等の関係機関との最終合意
 - ⇒ 再編案に関する地域との意見交換会に向けた準備
- 駅西側バス再編
 - ⇒ 将来の公共交通ネットワークイメージの具体化
- 新型コロナウイルス感染症対策
 - ⇒ バス事業者への行政支援策の実施

将来の公共交通ネットワークイメージ



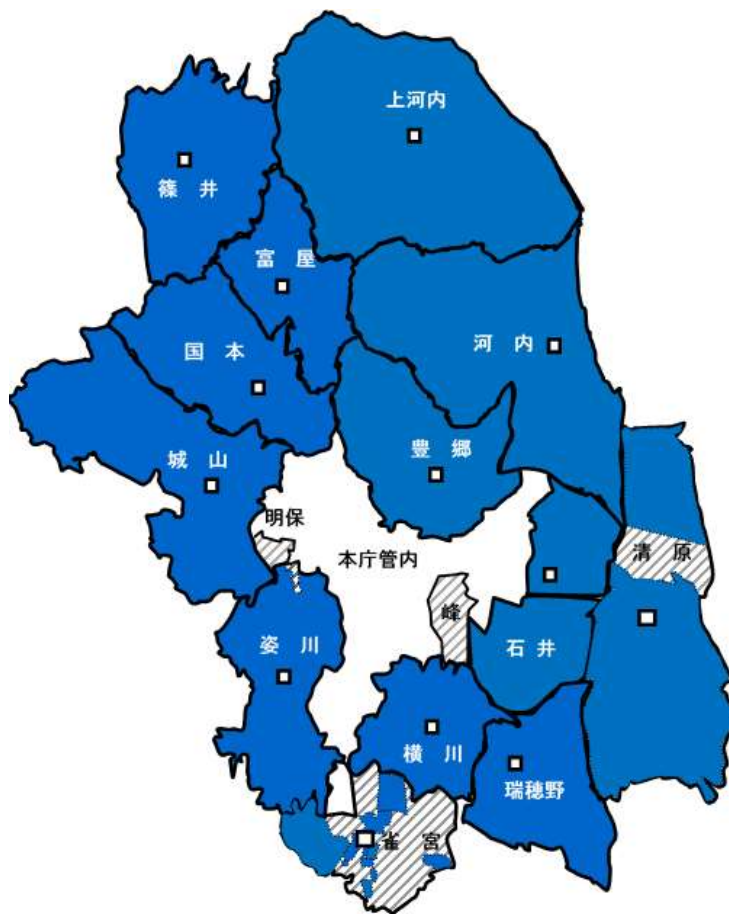
1-(1)-③ 地域内交通の充実

施策事業の概要
 郊外部における通院や買い物などの日常生活の足として、乗合タクシーなどにより、地域を面的にカバーする地域内交通の導入を推進する。
 また、既に導入済みの地区においては、LRTやバスなどの他の交通手段との連携を強化するとともに、各地域の状況に合わせて運行計画の見直しを図るなど、更なる利便性の向上を図る。

事業主体 (関係機関等)
 地域住民, 宇都宮市

施策事業の進捗状況
 R 3
 ○一部未導入地区
 ⇒地域住民の意識醸成, 意見交換, 意向把握の取組
 ⇒具体的な運行内容の検討 (清原地区・雀宮地区)
 ○導入済み地区
 ⇒運行の効率化, 利便性向上, 利用促進の取組
 ⇒目的施設の追加
 ⇒選挙投票日に合わせた臨時運行
 ○石井地区において4月より本格運行開始

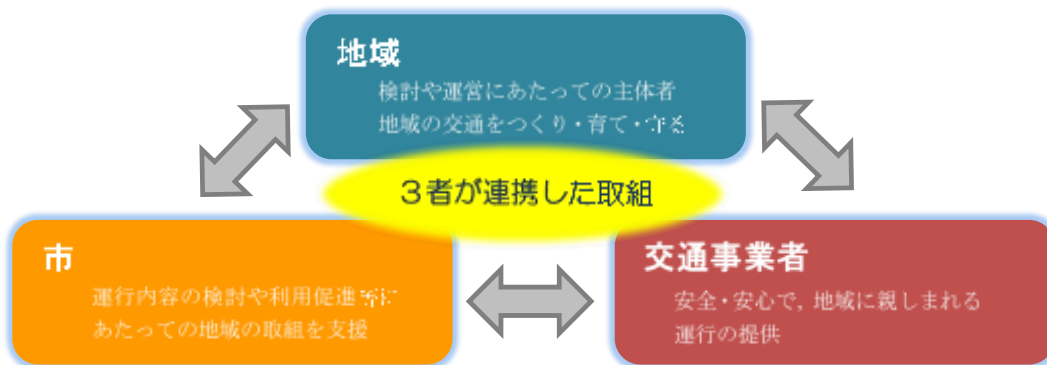
地域内交通の導入エリア (R4.3.31 現在)



1-(1)-④ 市街地部における生活交通の確保	
施策事業の概要	市街地部における通院や買い物などの日常生活の足として、バス路線やタクシーなどの既存の公共交通と役割分担しながら、各地域の特性を踏まえた生活交通を確保する。
事業主体 (関係機関等)	地域住民, 宇都宮市
施策事業の進捗状況	【導入に向けた取組】 ○地域住民の意識醸成・意向把握 ⇒ アンケート調査の実施（明保地区） ⇒ 勉強会の実施（細谷・上戸祭地区） ○具体的な運行内容の検討 ⇒ 運行ルート案の作成（峰地区） ⇒ 目的施設追加による運輸局への許可申請（石井地区）

市街地部における生活交通の基本方針

- ① 高齢化の進行や買い物弱者等の生活移動への対応
高齢化の進行や買い物弱者等の課題に対応するため、地域・市・交通事業者の3者が連携して市街地部の生活交通を確保していきます。
- ② 既存公共交通との共存・共栄・連携
既存公共交通の営業活動を阻害することのないよう共存・共栄・連携して生活交通を確保します。
- ③ 地域住民による組織の形成及び地域が主体となった導入・維持
自らの交通を「つくり」・「育て」・「守る」という意識を持って取り組んでいきます。



出典：市街地部における生活交通確保ガイドライン

1-(2)-① 都市計画道路の整備	
施策事業の概要	自家用車はもとより、バス路線や地域内交通などの公共交通による移動を円滑化するため、都市の骨格を成す3環状12放射からなる幹線道路をはじめ、拠点間を結ぶ道路ネットワークを整備する。
事業主体 (関係機関等)	栃木県, 宇都宮市
施策事業の進捗状況	R 3 ○用地取得・整備工事 ⇒大通り（桜・駒生） 宇都宮水戸線（築瀬） 国道 119 号線（宇都宮環状北道路） 国道 408 号線（真岡宇都宮バイパス） 産業通り（陽東） 産業通り（宇大2地区） 宇都宮日光線（一条） 鶴田宝木線（鶴田町・西川田町） 宇大東南通り（宇大2地区） 駅西中央通り（岡本駅西地区） 岡本駅西線（岡本駅西地区） 内野線（岡本駅西地区） 塙田平出線・宇都宮日光線（小幡清住地区）

国道 119 号（宇都宮環状北道路）の整備状況



1-(2)-② スマートインターチェンジの整備	
施策事業の概要	市民や来訪者などの交通利便性の向上や防災機能の強化,さらには地域振興を図るため,スマートインターチェンジを整備する。
事業主体 (関係機関等)	宇都宮市
施策事業の進捗状況	○(仮称)大谷スマートIC ⇒用地関連業務 ⇒用地取得,物件補償 R3



出典：市HP「道路のストック効果の具体的な事例」より

1-(3)-① 自転車走行空間や歩行空間の整備	
施策事業の概要	<p>自転車が安全に走行できるよう、自転車専用通行帯や矢羽根型路面表示などによる自転車走行空間を整備する。</p> <p>また、自転車走行空間の整備により歩行者と自転車を適切に分離することや、歩道沿いなどにベンチ等の休憩スポットを整備するなど、歩行者の安全性向上と歩いて出掛けやすい環境の整備を図る。</p>
事業主体 (関係機関等)	栃木県, 宇都宮市
施策事業の進捗状況	<p>R 3</p> <p>○自転車走行空間 ⇒護国通りや総合スポーツゾーン周辺路線など 10路線 約8.0kmを整備 ⇒整備延長 約59.3km / 123.3km (48.1%)</p> <p>○歩行空間 ⇒用補推進, 改良舗装工事, 電線類地中化の実施 (宇都宮市桜・駒生町) ⇒歩道バリアフリー化工事 (宇都宮向田線)</p>
	
矢羽根型路面表示	

1-(3)-② シェアサイクルの充実	
施策事業の概要	市民や来訪者などの移動の利便性を高めるため、鉄道駅やLRT停留場から目的地までのラストワンマイルを支える交通手段として、また、中心市街地や観光地などを周遊するための交通手段として、交通ICカード等で決済できるシェアサイクルを充実させる。
事業主体 (関係機関等)	宇都宮市
施策事業の進捗状況	R 3 ○導入に向けた情報収集等 ⇒ 関係課や事業者との意見交換



2. 交通手段と交通手段を「つなぐ」

2-(1)-① トランジットセンターの整備	
施策事業の概要	多様な交通手段が連携した利便性の高い公共交通ネットワークを形成するため、LRTの整備と合わせて、LRTとバス路線、タクシー、自動車などとの交通手段間の乗り換えが想定される箇所において、円滑に乗り継ぎや乗り換えができるトランジットセンターを整備する。
事業主体 (関係機関等)	宇都宮市
施策事業の進捗状況	<p>R 3</p> <p>【駅東側】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○トランジットセンターの整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒清原工業団地トランジットセンター整備工事（舗装等） ⇒ベルモールトランジットセンターについて、施設管理者と協議・調整 <p>【駅西側】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業化に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> ⇒LRT整備区間の検討や駅西側バス再編の検討と連携した、東武宇都宮駅付近や桜通り十文字付近における交通結節機能や施設規模などの検討



トランジットセンターのイメージ

トランジットセンターの整備状況
(清原工業団地)



2-(1)-②

鉄道駅周辺の交通環境の整備

施策事業の概要

LRTの導入などを踏まえ、JR宇都宮駅西口及び東口において、バスやタクシー、自動車などが円滑に通行できる環境を整備するとともに、鉄道やLRT、バス路線、タクシー、自転車などの乗り換えが便利な交通環境を整備する。

事業主体
(関係機関等)

宇都宮市

施策事業の進捗状況

R 3

- J R 宇都宮駅東口
 - ⇒ 交流広場の工事着工，交流広場条例の制定
 - ⇒ 宇都宮駅東口停留場の整備工事
 - ⇒ 東西自由通路の改修工事
- J R 宇都宮駅西口
 - ⇒ 駅西口駅前広場の施設配置等の検討
 - ⇒ J R 宇都宮駅西口における駅前広場の検討と連携し，L R T 高架構造物の柱や停留場位置の検討

J R 宇都宮駅東口イメージ図



令和4年1月24日撮影

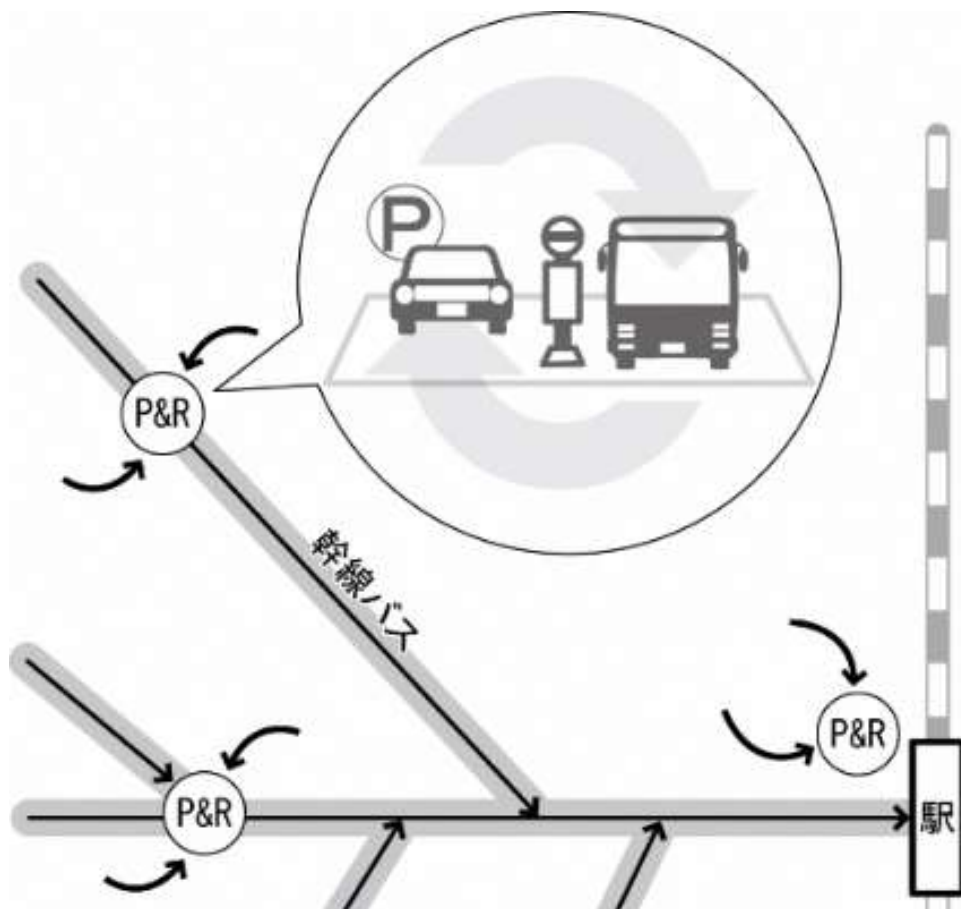
2-(1)-③ バスと地域内交通の乗り継ぎポイントの整備	
施策事業の概要	郊外部の各地域内での移動を支える地域内交通と、郊外部と都心部との移動を支える幹線バス路線の乗り継ぎが想定されるバス停留所において、上屋やベンチなどを設置し、快適な待合環境を整備する。
事業主体 (関係機関等)	宇都宮市
施策事業の進捗状況	○乗り継ぎポイントの整備 ⇒実施なし R 3

バスと地域内交通の乗り継ぎポイントのイメージ



2-(1)-④ パークアンドライド用駐車場の整備	
施策事業の概要	自動車から公共交通利用へ転換を図るため、鉄道駅やトランジットセンターなどの交通結節点や観光拠点などへ、公共交通との乗り継ぎに便利なパークアンドライド用駐車場を整備する。
事業主体 (関係機関等)	宇都宮市
施策事業の進捗状況	○パークアンドライド用駐車場を含むトランジットセンターの整備 ⇒清原工業団地トランジットセンター整備工事 R 3

パークアンドライドのイメージ



2-(1)-⑤ サイクルアンドライド用駐輪場の整備	
施策事業の概要	鉄道やLRT、バス路線などの公共交通へのアクセス性を向上させるため、鉄道駅やトランジットセンター、LRTの停留場、バス停留所などに、サイクルアンドライド用の駐輪場を整備する。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者、栃木県、宇都宮市
施策事業の進捗状況	R 3 <ul style="list-style-type: none"> ○LRT停留場周辺の駐輪場の検討・整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒目標台数や整備箇所の検討 ⇒駐輪場の整備工事 ○駐輪場整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒「松原停留所」付近の歩道の空地を活用した駐輪場整備(実施:栃木県) ⇒「上河内地区市民センター」の既存駐輪場を活用した駐輪場整備 ⇒民間施設の既存駐輪場を活用した駐輪場を整備

SUBARU前の駐輪場



2-(2)-① 公共交通の運賃負担の軽減

施策事業の概要 公共交通の利便性の向上や、乗り継ぎの負担を軽減するため、公共交通を乗り継ぐ際の運賃を割引くことやバス路線の運賃に上限を設定するなど、公共交通利用にかかる運賃負担を軽減する。

事業主体 (関係機関等) 交通事業者、宇都宮市

施策事業の進捗状況 R 3
 ○バスの上限運賃制度
 ⇒バス1乗車あたりの上限運賃制度の導入
 ○乗継割引制度
 ⇒LRTとバス、地域内交通との乗継割引制度の導入に向け、制度内容の検討

バスの上限運賃制度（広報うつのみや6月号）

6月30日からスタート/
バスの上限運賃制度

宇都宮などの地域内ICカードを使って日中に路線バスを利用すると、市内であれば片道運賃の上限が400円となる区間の上限運賃制度が実施されます。
 本項に宇都宮でICカードを利用する人へ、
 交通情報課の(632)2160

バスの上限運賃制度とは
 次の3つを満たすと、片道運賃の上限が400円となります。なお、小学生・身体欠損者がいる場合は上限200円となります。
 ・乗車日 平日・土日・休日、祝日を除く、午前5時～午後4時、なお、乗車の時刻で規定します。時刻別の乗車時刻が時刻別の乗車区間内であれば、適用してご利用いただけます。
 ・区間 市内での乗り継ぎ(当該乗継ぎ区間は適用されません)。
 ・対象 IC乗車ICカード(宇都宮ICカード)など利用可能。

利用方法 適用になる乗車区間内で、交通ICカードを使って乗り降りすると、適用されます。

乗車区間
 宇都宮駅 - 宇都宮駅 400円
 宇都宮駅 - 宇都宮駅 400円
 宇都宮駅 - 宇都宮駅 400円
 宇都宮駅 - 宇都宮駅 400円

乗車の乗車区間、入口ICカードリーダーICカードをタッチする。
 乗降区間の乗車区間は、乗降の乗車区間ではない乗降が実行されていますので、ご注意ください。
 乗車区間、乗降区間のカードリーダーICカードをタッチする。
 バスが乗降区間内にあるICカードをタッチする。

乗車時刻や乗降状況はこちらでご確認ください

路線バス(宇都宮・緑線・乗降区間システム) IC乗車ICカード
 バス(宇都宮・緑線・乗降区間システム) IC乗車ICカード
 乗降区間ICカード(宇都宮ICカード)など利用可能。
 乗降区間ICカード(宇都宮ICカード)など利用可能。

Q&A

乗継割引は適用にならないの?
 適用になりません。バスに乗車後に交通ICカードが利用して、上記運賃制度に適用される乗継区間(バス)を再び利用ください。

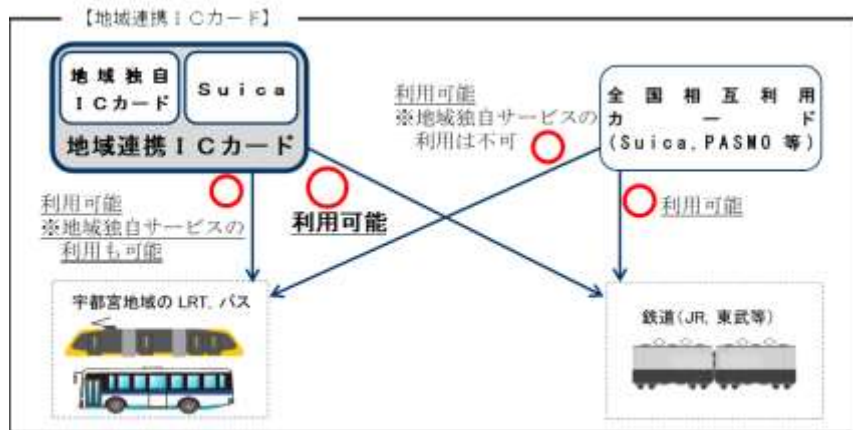
バスを降り継ぐ区間は適用にならないの?
 1乗車ごとに適用となるため、乗り継ぎ区間は適用されません。

運賃が400円以下の場合はどうなるの?
 これまで通り、通常運賃となります。

バスの利用によって異なる交通ICカードや乗降ICカード(乗降区間システム)などを利用できます。乗降ICカードは乗車区間ICカードとは、乗降区間ICカード(宇都宮ICカード)など利用可能。

2-(2)-②		乗り継ぎに配慮した運行ダイヤの編成
施策事業の概要		公共交通間の乗り継ぎを円滑化するため、鉄道やLRTのダイヤを踏まえ、乗り継ぎに配慮したバスの運行ダイヤを編成する。
事業主体 (関係機関等)		交通事業者
施策事業の進捗状況	R 3	○路線バス再編案検討

2-(2)-③ 交通 IC カードの導入	
施策事業の概要	乗降時間の短縮などの公共交通の利便性の向上や公共交通間の乗り継ぎの円滑化を図るため、鉄道やLRT、バス路線、地域内交通など多様な公共交通で共通して利用できる交通ICカードを導入する。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者、宇都宮市
施策事業の進捗状況	R 3 ○システム及び機器の設計開発（地域内交通，LRT） ○ICカードの普及促進を図る取組の検討・実施 ⇒自治会回覧やラジオ，大型映像装置，新聞など様々な媒体を活用したICカードの普及促進を図る取組の実施



地域連携 IC カードのサービスイメージ

3. 状況に応じて適切に交通手段を「つかう」

3-(1)-①	バスの定時性・速達性の向上
施策事業の概要	交通ICカードの導入と、これに伴うバスの中乗り・前降りの実現により、バスの乗降時間を短縮することに加え、定時性に優れるLRTにバス路線を接続させることや、主要なバス停留所のみ停車する急行バスを導入することなどにより、バスの定時性・速達性を向上させる。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者，宇都宮市
施策事業の進捗状況	<p>○ ICカードの普及促進【再掲】</p> <p>⇒自治会回覧やラジオ，大型映像装置，新聞など様々な媒体を活用した ICカードの普及促進を図る取組の実施</p> <p>⇒ ICカードの普及と，バスの乗降方法変更（後ろ乗り前降り）により，定時制・速達性を向上</p> <p style="text-align: center;">R 3</p>

バス事業者の周知内容（HPより）

乗車方法の異なるバスが混在して運行いたします。

【実施：2021年1月5日（火）より、2021年春（ICカードが利用開始となる日まで）】

バスカードがご利用できなくなる。2021年1月5日（火）より、バス車内乗務員が交換されたバスから順次ご乗車が「うしろ乗り」に変更となります。大変ご不便をおかけいたしますが、ご協力いただけますようお願いいたします。

バス正面にて乗車方法を表示いたします

バスカードのフロント面乗車方法が変更されています。ご乗車の際はご注意ください。

ICカード名称は「tetra」

2020年1月に開始したICカード（関東自動車株式会社・ジェイアールバス関東株式会社）は、ICカード事業者（関東自動車株式会社・ジェイアールバス関東株式会社）と連携し、ICカードの共通化を進めています。ICカードの共通化を進めることにより、ICカードの利用がより便利になります。

【お問い合わせ先】

関東自動車株式会社 路線バス部 **tel. 028-634-8133**
 〒217-8501 宇都宮市東大塚 9:00~17:30

ジェイアールバス関東株式会社 宇都宮支店 **tel. 028-687-0671**
 〒217-8501 宇都宮市東大塚 9:00~17:30

関東自動車株式会社 ジェイアールバス関東株式会社

路線バスをご利用の方へ **重要なお知らせ**

2021年のICカード導入に伴い **バスの利用方法が変わります**

このパンフレットでは、**バスカードの別居終了と新しくなるバスの乗車方法**をご案内いたします。

このパンフレットは、2020年8月 発行のものとなります。

バスカードのご利用終了について

ICカードの導入に伴い、旧たなバス車内乗務員への取付替えを図ります。

■バスカード利用終了について

バスカードが利用終了したバスは、2021年1月30日（月）をもって、**終了**とさせていただきます。

■バスカードの利用終了日

2020年10月30日（木）まで ICカードが利用可能

2020年11月30日（月）まで ICカードが利用可能

2021年1月30日（月）から ICカードが利用可能


バスカードの別居終了は、2021年1月30日（月）からとなります。

バスカードの別居終了は、2021年1月30日（月）からとなります。

バスカードの別居終了は、2021年1月30日（月）からとなります。

バスカードの別居終了は、2021年1月30日（月）からとなります。

バスカードの別居終了は、2021年1月30日（月）からとなります。

3-(1)-② バスの運行時間帯の拡大	
施策事業の概要	鉄道やLRTとの乗り継ぎや利用者のニーズなどを踏まえながら深夜バスや早朝バスを運行するなど、幹線バス路線の運行時間帯を拡大する。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者，宇都宮市
施策事業の進捗状況	<p>○深夜バスの運行（4系統） ※現在は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により，全便運休中。</p> <p style="text-align: center;">R 3</p>
<p>深夜バス(関東・駒生車庫行き (参考))</p> 	

3-(1)-④ 企画乗車券の充実	
施策事業の概要	観光客を始めとした来訪者が公共交通を便利かつ安心して利用できるよう、1日乗車券などの企画乗車券を充実させる。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者
施策事業の進捗状況	<p>R 3</p> <p>○大谷観光一日乗車券等の販売 ○きぶな一日乗車券（ぎょうざ食べ歩きっぷ）の販売 ○ろまんちっく村満喫きっぷの販売</p>

大谷観光一日乗車券のチラシ

大谷観光一日乗車券

「これ1枚で」もっと大谷が楽しくなる、お得なバスチケット!

「路線バスで大谷にでかけてみよう!」
 関東自動車が発行する路線バスの「宇都宮駅⇄大谷(立寄)の間」を1日乗り降り自由!
 更に大谷資料館と大谷観音(大谷寺)の入場・拝観券が付いてるお得な乗車券です。

見所たくさん! 「石の里」大谷。
 宇都宮の北西側に位置し、特産品である「大谷石」の産地「石の里」大谷には、地下に広がる「大谷資料館」(大谷資料館)、「日本最大の石仏(大谷観音)」があり、他にも数々の見所、高さ27mの石塔観音、大谷石でつくられた観音の複製など、ここでしか味わえる見所が盛りだくさんです。また大谷の中心部に日本唯一の「石の里神社」、大谷石、大谷石「石が舞う音」、宇都宮市立大谷資料館「石の里」にて開催「宇都宮市立大谷資料館」の「大谷石」(大谷石) 展示館などがあります。この乗車券も活用して大谷を満喫して下さい!

【大谷観光一日乗車券】を使えば、
 大谷をむつと「お得に楽しく」観光できちゃいます!

- ◆バス往復代金 宇都宮駅⇄大谷(立寄)間 大人900円
- ◆大谷資料館の入場料 大人800円
- ◆大谷観音(大谷寺)の拝観料 大人400円

通常合計2,100円が **350円も** お得!

大谷観光一日乗車券なら 大人**1,750円**! (小学生1,200円、中学生1,500円)
 「これ1枚で」ぜんぶ楽しましちゃいますよ!
 さらに乗車券の裏面にもお得な情報が7、8月は宇都宮市観光センターで!

関東バス 発車時刻表 (宇都宮駅⇄大谷(立寄)間の時刻表が案内してありますので、時刻も乗降する社に質問下さい。時刻表はバスに添付します。乗車時刻表、時刻表は12月2、4日(土曜)から12月12日(日)まで有効です。)

乗車	7:55	8:10	8:25	10:05	10:45	11:25	12:05	13:25	14:15	14:55
降車	8:00	8:15	8:25	10:10	10:50	11:30	12:40	13:30	14:20	14:55
1日乗車券	7:55	8:10	8:20	10:05	10:35	11:05	12:15	12:35	13:15	14:30
0:00	8:15	8:25	10:10	10:40	11:05	11:30	11:55	12:20	12:40	14:20

12月12日(日)の乗車時刻表
 宇都宮駅⇄大谷(立寄)間 乗車時刻表 降車時刻表

乗車	11:12	11:42	12:27	13:17	14:22	15:17	15:42	16:47	17:22	
降車	11:13	11:43	12:28	13:18	14:23	15:18	15:43	16:48	17:23	
1日乗車券	11:12	11:42	12:27	13:17	14:12	14:42	15:12	15:42	16:12	16:47
0:00	11:13	11:43	12:28	13:18	14:13	14:43	15:13	15:43	16:13	16:48

【乗車券 販売箇所・販売時間】

- 大谷観光一日乗車券の発売場所は、宇都宮市観光センター(宇都宮駅西口より徒歩1分)・宇都宮市観光センター(11月3日～11月10日)・土曜 10:00～18:00、日曜 10:00～17:30、11月12日(日) 10:30～17:30
- 宇都宮市観光センター(12月2日(土曜)～12月10日(日))
- 宇都宮市観光センター(12月11日(日)～12月12日(日))

本物の出会い 栃木

3-(1)-⑤ バスの待合環境の整備	
施策事業の概要	バス停留所に上屋やベンチを整備するとともに、バスの運行状況を知らせる接近表示機を設置するなど、快適なバスの待合環境を整備する。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者、栃木県、宇都宮市
施策事業の進捗状況	○バス停留所上屋の設置 ⇒上屋の設置について国と協議・調整（川田入口）
	R 3

(参考) 令和2年度実施：雀宮駅入り口（上り、下り）



3-(2)-① 公共交通の案内情報の提供	
施策事業の概要	<p>バス路線マップを作成し、転入者を始めとした市民に配布するとともに、観光客を始めとした来訪者に対して、JR宇都宮駅の「観光案内所」において、LRTやバス路線などの公共交通に関する情報を提供する。</p> <p>また、公共交通の案内に関するホームページを運用するとともに、パソコンやスマートフォンなどの地図アプリに対して情報を提供するなど、最新の技術を活用して、分かりやすく使いやすい情報の提供を行う。</p>
事業主体 (関係機関等)	交通事業者，宇都宮市
施策事業の進捗状況	<p>R 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「2021年度版宇都宮・芳賀バス路線マップ」の配布 ⇒ バス事業者の各営業所，市観光案内所，市役所本庁舎，各地区市民センター等 ○「2022年度版宇都宮・芳賀バス路線マップ」の作製 ○JR宇都宮駅構内観光案内所において、電車やバスの乗降者に対し、観光情報や時刻表等を案内 ○JR宇都宮駅構内にて案内看板の設置 ○パソコンやスマートフォン等から観光施設の場所や観光情報等が確認できるデジタルマップを構築

宇都宮・芳賀バス路線マップ



3-(2)-② バスの運行情報の提供	
施策事業の概要	バスロケーションシステムを活用し、鉄道駅や主要なバス停留所などにおいて、バスの運行状況などの情報を提供するとともに、ホームページやアプリなどを活用して、自宅などからでも運行情報を確認できるようにする。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者，宇都宮市
施策事業の進捗状況	R 3 ○バス接近表示機の設置 ⇒新型コロナウイルス感染症の影響により，次年度以降に先送り

バス接近表示機（JR 宇都宮駅西口）



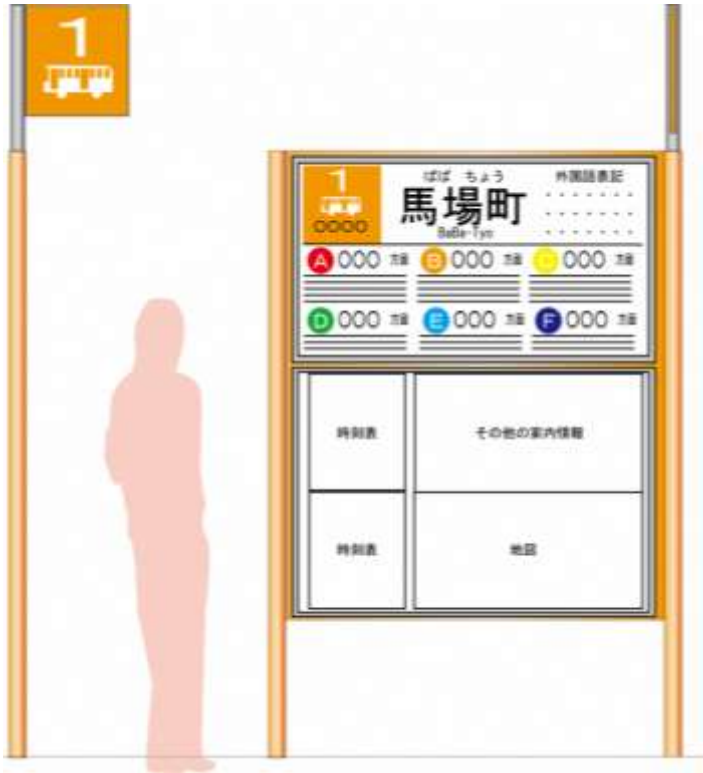
3-(2)-③ 公共交通の案内サインの充実

施策事業の概要 近年、増加している外国人観光客などに対応するため、鉄道駅や主要なバス停留所、観光施設等において、あらゆる言語に対応できる、数字や記号を用いた分かりやすい案内サインを設置する。

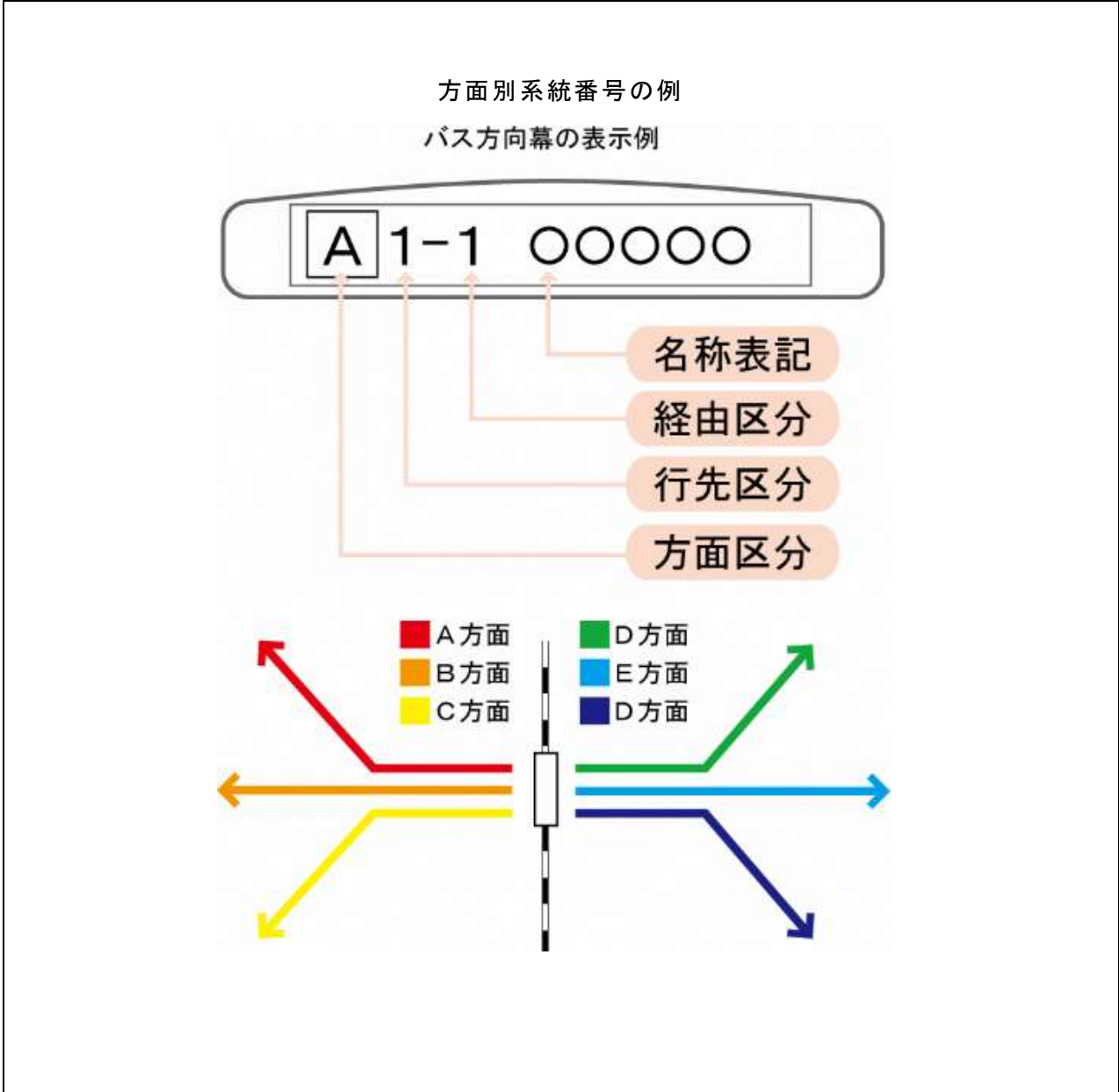
事業主体 (関係機関等) 交通事業者、宇都宮市

施策事業の進捗状況 R 3
 ○外国人観光客受入体制整備補助金による、案内サイン設置の促進
 ⇒新型コロナウイルス感染症等による外国人観光客の減少などの影響もあり、補助制度の申請なし

案内サインのイメージ



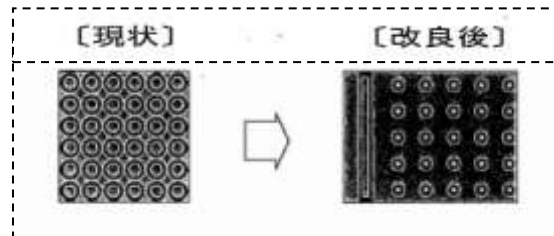
3-(2)-④ バスの方面別系統番号の導入	
施策事業の概要	バスの系統ごとの行き先や経由地が分かりやすくなるよう、市内のバス事業者で統一した、行き先の方面別の系統番号を導入する。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者、宇都宮市
施策事業の進捗状況	○バス路線再編後のJ R宇都宮駅西口バス乗り場の検討（方面別バス乗り場の検討） R 3



3-(3)-① ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーの導入推進	
施策事業の概要	子どもから高齢者，障がい者まで，誰もが利用しやすい公共交通となるよう，バス路線へのノンステップ車両の導入や，タクシー・地域内交通へのユニバーサルデザイン車両の導入を推進し，公共交通車両のバリアフリー化を図る。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者，宇都宮市
施策事業の進捗状況	<p>R 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バス事業者におけるノンステップバスの導入 0台 ○タクシー事業におけるユニバーサルデザインタクシー車両導入 4台
<p>ノンステップバス（関東自動車）</p> 	

3-(3)-② 交通施設のバリアフリー化の推進	
施策事業の概要	子どもから高齢者，障がい者まで，誰もが利用しやすい交通環境を整備するため，鉄道駅やトランジットセンターなどのバリアフリー化を図る。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者，宇都宮市
施策事業の進捗状況	R 3 ○トランジットセンターバリアフリー化 ⇒スロープや視覚障がい者誘導ブロックの整備 ⇒運行情報の「文字化」「音声化」の整備

整備イメージ：点字ブロックの改良(JR 宇都宮駅新幹線ホーム))



3-(3)-③

交通安全に関する市民意識啓発の推進

施策事業の概要

自動車はもとより、自転車や徒歩における交通ルールの周知・徹底を図るなど、市民に対する意識啓発を推進する。
また、LRTの開業を見据え、軌道敷に関する交通ルール等について、市民を対象に分かりやすく周知する。

事業主体
(関係機関等)

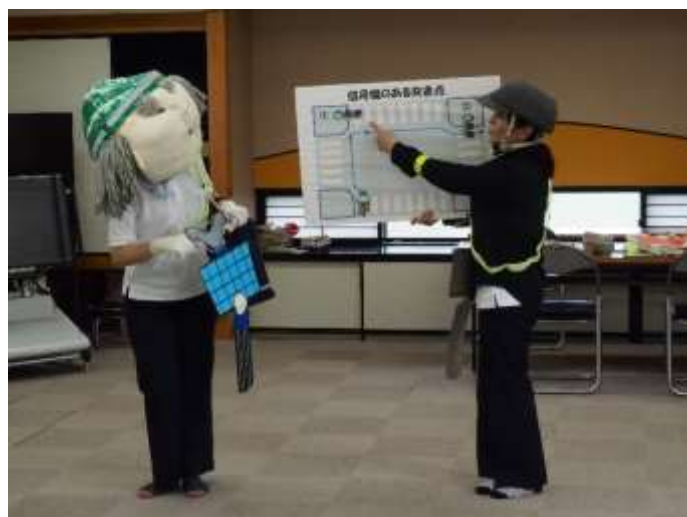
交通事業者，宇都宮市


施策事業の進捗状況

R 3

○意識啓発の推進
⇒子どもから高齢者を対象とした交通安全教室の開催（311回）
⇒自転車利用者に対する街頭指導の実施（13箇所・25回）
⇒交通安全啓発パンフレット等の作成・配布（68,908枚）
⇒LRTの交通ルール啓発チラシを高齢者のほか小学生～高校生に対し配布（36,628枚）

交通安全教室の様子

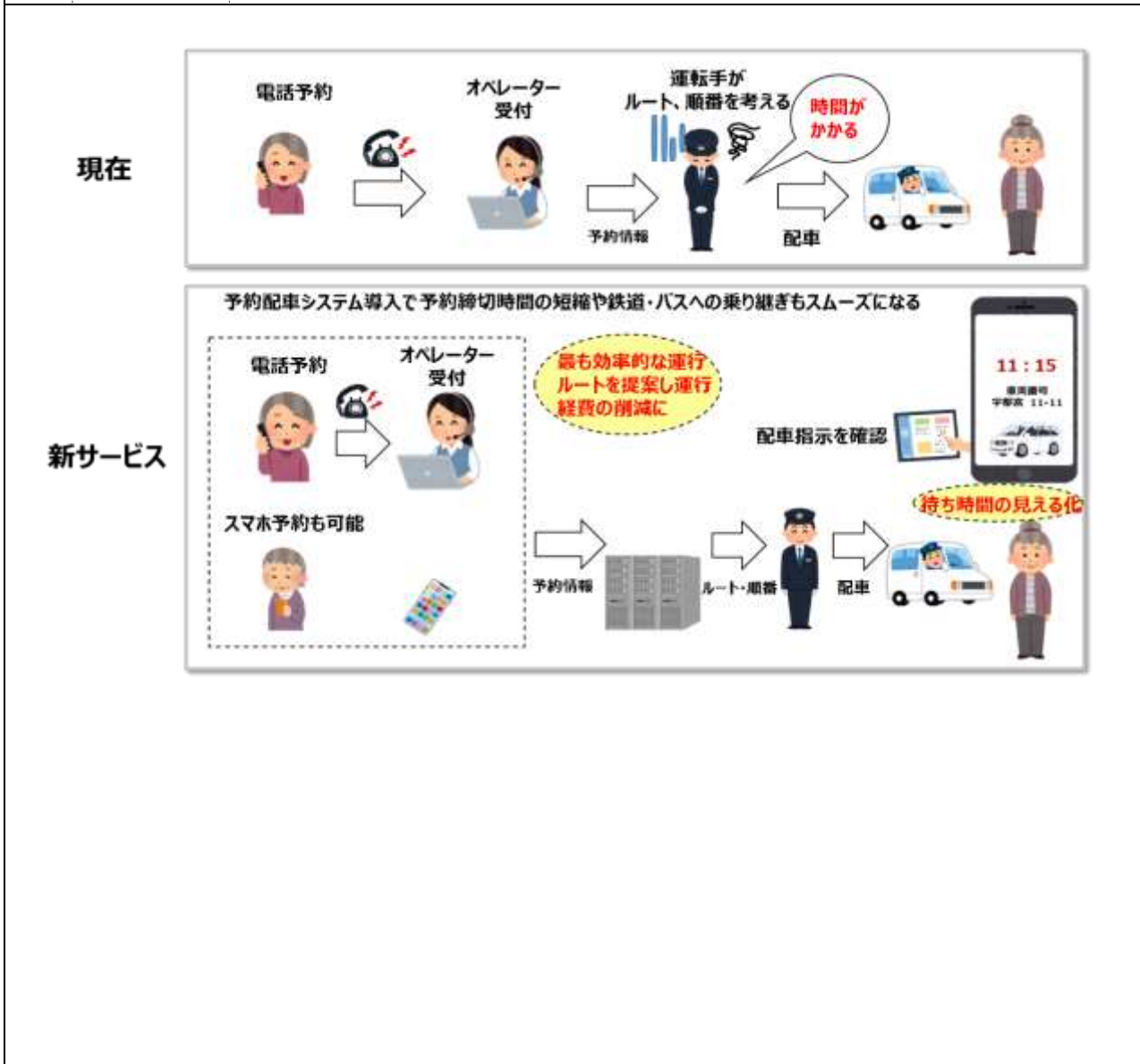


3-(4)-① モビリティ・マネジメント施策の推進	
施策事業の概要	移動目的に応じて、自家用車と公共交通、自転車などを適切に使い分けずる社会の実現に向けて、様々な機会を捉えて市民への意識啓発を実施し、自動車から公共交通利用への転換を促進する。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者，栃木県，宇都宮市
施策事業の進捗状況	<p>R 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民MM ⇒市広報紙，情報誌あんふあん，県庁 15 階でのパネル展示，県民だより道の駅でのオープンハウス（11～1月） ⇒成人式の実施にあわせ，公共交通に関するパンフレットを配布 ○転入者MM ⇒市民課や各地区市民センターなどにおいて，転入者等に対してバス路線マップを配布（宇都宮市分 18,000 部） ○学校MM ⇒小学生を対象としたバスの乗り方教室の開催（6校） ○路線MM ⇒バスの上限運賃制度の主な対象となる郊外部の地域・路線を中心に，制度の周知を図るとともに，双方向のコミュニケーション手法（トラベルフィードバックプログラム）を用いたアンケートなどを実施
<p>バスの乗り方教室の様子</p> 	

3-(4)-② 公共交通の「おもてなし」の向上	
施策事業の概要	国内外からの観光客を始めとした来訪者の増加を踏まえ、イベント等の来場者輸送におけるバス路線やタクシーなどの公共交通の効果的な活用に加え、バス路線やタクシーなどにおける観光案内情報の提供を含む接遇の向上を図るとともに、快適な車内環境を整備するなど、おもてなしの向上を図ることや、公共交通利用におけるポイント制度など、日常的な利用者に対するサービス向上を図る。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者
施策事業の進捗状況	<p>R 3</p> <p>○おもてなし推進委員会による各団体への勉強会等の実施 ⇒おもてなし勉強会</p> <p>①実施日：令和3年6月19日（参加人数：30名） 内 容：市内のタクシー事業者を対象に観光情報や観光客に対する接遇についての実習等</p> <p>②実施日：令和3年11月24日，12月1日（参加人数：20～30名） 内 容：観光関連団体を対象に，翌年度の国体開催や駅東口交流拠点施設のオープンなどを見据え，おもてなし力を高めるため，宇都宮の観光資源に係る知識の習得と意識の向上</p> <p>⇒おもてなし出前講座</p> <p>①実施日：令和3年6月28日（参加人数：76名） 内 容：市内の小学生を対象にした，おもてなしに対する意識の向上及び，宇都宮の観光資源に係る知識の習得を図るもの</p> <p>⇒おもてなしセミナー</p> <p>①実施日：令和3年12月3日（参加人数：50名） 内 容：ANA ビジネスソリューション(株)の乗務員をセミナーの講師に迎え，「接遇（おもてなしの心の表し方）」の実習等</p>

4. 交通を「ひろげる」

4-(1)-① 自動運転や安全運転支援技術の公共交通への活用	
施策事業の概要	国のSociety5.0やスマートシティの実現に向けた、自動運転や公共交通全体のスマート化の方針を踏まえ、バス路線や地域内交通などの公共交通への自動運転や安全運転支援技術の導入により、運行サービスや安全性の向上を図る。
事業主体 (関係機関等)	交通事業者，宇都宮市
施策事業の進捗状況	R3 ○地域内交通予約・配車システム実証実験の実施(河内地区・清原地区) ○実証実験結果を踏まえた効果検証・取りまとめの実施



4-(1)-②

バス・タクシーへのゼロエミッション車の導入推進

施策事業の概要

温室効果ガスの排出を抑制し、環境にやさしい持続可能な社会を実現するため、バスやタクシーなどの公共交通車両への電気自動車や燃料電池車等のゼロエミッション(排出ガスゼロ)車両の導入を推進する。

事業主体
(関係機関等)

交通事業者，宇都宮市

施策事業の進捗状況

R 3

- EVバス等導入に向けた課題の抽出及び支援策の調査研究
⇒スマートシティにおける「清原フィーダー交通のEV化」と連携した，EVバス等導入に向けての課題の抽出と課題解決策の検討
- 水素等の先端環境技術の活用に向けた調査研究
⇒「栃木県県央地区水素利活用検討会」における県内への水素ST整備に向けた水素需要の創出検討



EVバスの例（出典：羽村市公式ホームページ）

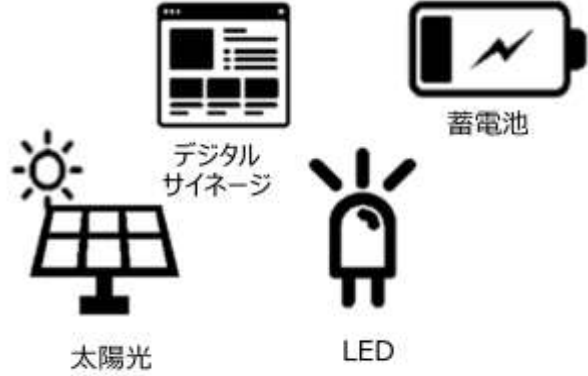
4-(1)-③ トランジットセンター周辺の低炭素化の推進

施策事業の概要
 SDGsやスマートシティの実現などを見据え、低炭素なまちづくりを推進するため、LRT沿線をモデルエリアとして、トランジットセンターなどの交通結節点の低炭素化を図るとともに、LRTの支線バスの車両において、電気バスなどの普及促進や市内の再生可能エネルギーを公共交通に供給するなど、ゼロカーボントランスポートの実現を目指す。

事業主体
 (関係機関等) 宇都宮市

施策事業の進捗状況
 R 3
 ○清原工業団地TCへのPPA事業を活用した太陽光発電及び蓄電池の導入について庁内合意
 ○「平出町TCゾーン整備」との調整

取組イメージ



4-(2)-① 公共交通と連携したカーシェアリングの導入	
施策事業の概要	今後の少子高齢化や、国のMaaS導入に向けた動きなどを見据え、必要なときだけ自家用車を利用できるカーシェアリングを、既存の公共交通と適切に役割分担しながら導入する。
事業主体 (関係機関等)	宇都宮市
施策事業の進捗状況	R 3 ○遊休社用車・敷地のカーシェアリング事業 ⇒令和2年度において、Uスマート推進協議会の取組として、東日本電信電話株式会社が有する社用車・敷地等について、地域住民・ビジネス客・旅行者等に対する二次交通としてのカーシェアリング事業を実施し、現在も事業を実施中。



カーシェアリングサービス「ノッテッテ」
※株式会社エヌ・ティ・ティ・ル・パークHPより

4-(3)-② 広域バス路線の充実

<p>施策事業の概要</p>	<p>市内と周辺市町との間での移動の利便性を高めるため、LRTの導入やバス路線の再編などの機会を捉えて、他市町にまたがって運行する広域のバス路線の運行サービスの充実を図る。</p>
<p>事業主体 (関係機関等)</p>	<p>交通事業者，栃木県，宇都宮市</p>
<p>施策事業の進捗状況</p>	<p>R 3</p> <p>○LRT導入後の広域バス路線の運行内容等の検討 ⇒LRT導入後の運行経路・運行本数等についてバス事業者と最終合意 ⇒周辺市町との最終合意（真岡市・芳賀町・市貝町・茂木町）</p>



広域を運行するバス路線（JRバス関東）

4-(3)-⑤ 周辺市町と連携した交通施策の推進

<p>施策事業の概要</p>	<p>LRTやバス路線などの公共交通ネットワークでつながっている周辺市町と連携し、広域にまたがって運行する公共交通の運行便数や運賃体系などのサービスの向上を図る。</p>
<p>事業主体 (関係機関等)</p>	<p>宇都宮市，周辺市町</p>
<p>施策事業の進捗状況</p>	<p>R 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県央協議会オリジナルデザインの啓発グッズの作成(エコバッグ・付箋) ○ 学校MMの実施(鹿沼市) ○ 交通事業者による新型コロナウイルス感染症感染防止対策の取組状況をホームページへ掲載 ○ 公式 Instagram による情報提供 ○ 先進事例視察の実施(茂木町)

啓発グッズデザイン (エコバッグ)



啓発グッズデザイン (付箋)

